

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	5.多様な人材が働きやすい環境の向上
基本施策	5-1.雇用環境の整備と労働力の確保
関連するプロジェクト	5.「北上×はたらく」プロジェクト

より多くの女性、高齢者、障がい者、外国人等が働くことができる環境を構築するため、中小企業へのワーク・ライフ・バランスや合理的配慮等の普及とともに、埋もれている人材のスキルアップと就労支援の充実、福祉・医療・介護・農林業分野の労働力確保に取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
B

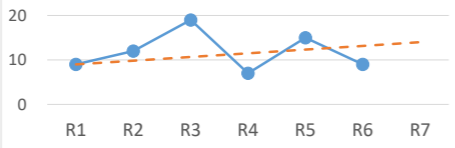
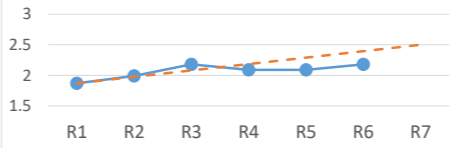
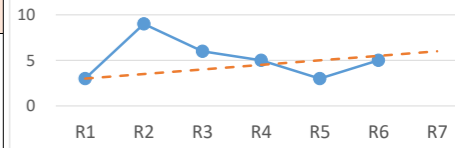
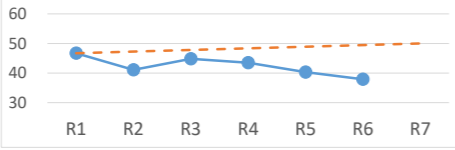
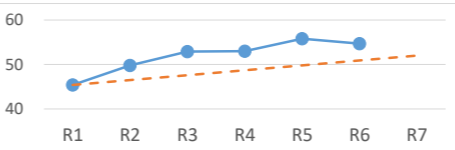
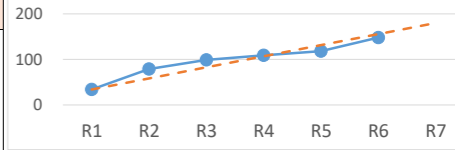
※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R5事後
11

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	福祉 部	●	障がい者の就労支援事業の充実	障がい者の自立を支援するため、すでに障がい者就労支援事業所の施設外就労等を受け入れている企業に対し、一般就労へのステップアップに向けた働きかけ等を推進し、福祉施設から一般就労への移行を促進する。また、福祉施設で働く障がい者の工資引上を目指し、各施設のサービス向上を図るとともに、障害者優先調達推進法など関連する制度の周知に努める。	①②	指標に基づく事実	①福祉施設から一般就労移行者は、年度によって変動が激しく、R6は期待値を下回った。 ②北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率は微増傾向で、期待値を下回っている。	C	指標に関する内容	①自立支援協議会で就職を希望する障がい者向けのセミナーを実施。他にもハローワーク、障がい者・生活支援センターと連携し、就労希望者と企業のマッチングを図ることで、一般就労移行に寄与した。 ②自立支援協議会就労支援部会と花巻清風支援学校との共催で企業向けの説明会を実施。支援学校の見学による障がい者への理解を深めるとともに、市内企業の好事例の共有により、企業の障がい者採用活動の促進を図った。	指標に関する内容	①就労継続支援B型事業所の開所が相次ぐ一方、A型事業所は閉所するなど、就労支援体制の変動が激しい。 ②北上公共職業安定所等により障がい者雇用の周知が図られているほか、企業側の障がい者雇用の取組も増えているが、経営状況の悪化や、障がい者が担ってきた業務においてDX等による業務効率化が進んでいることが、障がい者雇用を阻む要因となっている。	◇就職希望の障がい者向けに、就職に必要なスキルアップのためにセミナーを継続して実施する。 ◇ハローワーク、障がい者・生活支援センターと連携して、就労希望者と企業のマッチングを図る。 ◇花巻清風支援学校と連携し、企業に対して障がい者雇用についての啓発や事例紹介を継続して行うと共に、雇用希望に対してのマッチングなど適宜支援を行う。 ◇障害者優先調達推進法など関連する制度の周知を、市の各部署に加えて、指定管理施設に拡大する。
						指標以外の事実	福祉施設で働く障がい者の平均工資は、増加傾向である。	(B)	指標以外の内容	市の各部署に対して、障がい者就労施設等からの物品調達を促すことにより、物品調達額が増加し、工資向上に貢献した。	指標以外の内容		
2	福祉 部	●	介護施設で働く人材の確保	市内の介護福祉士養成施設の生徒の学費を補助することで、介護施設への就職者を確保し、施設の安定的な運営に資する。	③	指標に基づく事実	北上市介護人材確保推進補助事業について、R6年度も新規申請はなく、近隣の自治体においても、この事業と同種の介護職のための奨学金返済を支援するという目的の事業は伸び悩んでいる。	B	指標に関する内容		指標に関する内容	・北上市介護人材確保推進補助事業が伸び悩んでいる原因は、北上市介護人材養成補助事業に対するニーズの方が高いことが考えられる。 ・高齢者人口がピークを迎える2040年には県内の介護職員が約6千人不足すると推計されている。介護人材確保は喫緊の課題であり、国において処遇改善のための取組が進められているが、全産業平均との比較では依然として格差がある。	◇R2年度以降新規の申請がないことからR7年度で事業終了とする。 ◇介護人材の確保については、雇用対策協議会と連携した就職相談会の開催に継続して取り組む。
						指標以外の事実		(B)	指標以外の内容		指標以外の内容		
3	福祉 部	●	多様な人材を生かす取り組み	ジョブカフェ、ひきこもり支援、障がい者就労支援、生活困窮者就労準備支援などの関係機関の協力体制を充実させ、企業や社会福祉法人などとともにユニバーサル就労を推進する。  ※ユニバーサル就労の推進 誰にとっても働きやすく、働きがいのある多様な働き方ができるユニバーサルな職場環境をつくること	②	指標に基づく事実	北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率は微増傾向で、期待値を下回っている。	B	指標に関する内容	・自立支援協議会就労支援部会と花巻清風支援学校との共催で企業向けの説明会を実施。支援学校の見学による障がい者への理解を深めるとともに、市内企業の好事例の共有により、企業の障がい者採用活動の促進を図った。	指標に関する内容	北上公共職業安定所等により障がい者雇用の周知が図られているほか、企業側の障がい者雇用の取組も増えているが、経営状況の悪化や、DX等による業務効率化が進んでいることが、障がい者雇用を阻む要因となっている。	◇ハローワーク、障がい者・生活支援センターと連携して、就労希望者と企業のマッチングを図る。 ◇花巻清風支援学校と連携し、企業に対して障がい者雇用についての啓発や事例紹介を継続して行うと共に、雇用希望に対してのマッチングなど適宜支援を行う。 ◇ひきこもりネットワーク協議会を活用し、各支援機関のネットワーク機能を強化しつつ、利用者のニーズに即した支援を実施できるよう体制の充実を図る。 ◇生活困窮者の自立の促進を図るため、就労準備支援を継続して行う。
						指標以外の事実	ひきこもりへのアウトリーチ支援により、居場所や就労訓練へつながるケースが増加している。なお、生活困窮者就労準備支援事業の相談者は増加しているが、就労準備プログラム計画を作成しての取組が低調だった。	(B)	指標以外の内容	・業務委託先が生活困窮者に係る自立相談支援事業及びひきこもりへのアウトリーチ支援も行っており、就労について相談がしやすい体制を整えている。 ・アウトリーチ支援の実施により、従来ニーズ把握の難しかったひきこもり当事者や家族へ能動的な支援を行うことが可能となっている。	指標以外の内容		

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	商工 部	●	障がい者 雇用の推 進	労働局との雇用対策協定に基づき、ハローワークと協力して障がい者就職相談会を開催するほか、ジョブカフェさくらによる利用者との相談と受け入れ先となる企業の開拓により企業と就労希望者とのマッチングを図る。	未設定	指標に基 づく事 実	R6年度の障がい者の就職率(就職件数/新規求職申込件数)は41.3%であり、R1年度と比較して14.5ポイント減少している。	B   (B)	指標に 関する 内 容		指標に 関する 内 容	◇引き続きマッチング機会の創出及びジョブカフェさくらを通じて就労支援する。	
					指標以 外の事 実				指標以 外の 内 容	・R6年度の障がい者の新規求職申込件数は208件であり、R1年度と比較して36件減少している。 ・法定雇用率が段階的に引き上げられている中で企業は法定雇用率達成に向け、障がい者雇用の動きがみられるものの、障がい者雇用率未達成企業が依然として多い状況にある。			
5	商工 部	●	人口減少 下におけ る労働力 の確保	インターンシップの実施支援や企業見学会の開催などにより新規卒者の市内就職を高めるほか、就職相談会等により、労働意欲がある者と企業とのマッチングを図る。また、人口減少下にあつては、今後さらに人材確保が困難になることが想定されることから、就職時のミスマッチ減少、労働環境の時代に即した変化、働き方の多様性など、企業と就労者の隙間を埋める取り組みを進め、人材定着を促進する。	④⑤	指標に基 づく事 実	④就職率はR5年度より減少し、期待値を11.6ポイント下回っている。 ⑤管内新規高等学校卒業者求人の充足割合は、R5年度より1.1ポイント減少しているものの、期待値を上回っている。	B  (B)	指標に 関する 内 容	・インターンシップ支援、なりわい事例集の作成、ジョブカフェさくらで就労支援及び出張キャリアサポートなどの事業の実施した。 ・北上地区合同就職相談会を開催し、一般求職者と市内企業のマッチングを図った。 ・新卒採用市場の理解と効果的な大学等との連携方法について、大学等の就職担当職員を招いた研修会を実施し、企業の自律的な採用活動を支援した。	指標に 関する 内 容	・若い年代を中心にスポットワーク利用するが増えている。一方で、ハローワークの利用者に中高年代が増えている。 ・企業や関係機関の高卒人材確保に向けた取り組み等により、管内新規高等学校卒業者求人の充足割合はR1年度以降、増加傾向にある。	◇雇用対策については、「生産性向上等の産業政策」、「人材確保の政策」、「人材定着の政策」の3つの施策が相互に関連し合いながら進めるべきものであるが、中でも「人材定着」の取組みは、地域の持続的な発展に向けて特に意識して取り組む必要がある。 ◇企業訪問を通じた実態・ニーズ把握及び北上市雇用対策協議会による東北一円及び首都圏等からの人材確保に向けた取組拡大と高校・大学との積極的な情報交換を行い、連携可能な大学等の拡充を図る。 ◇ジョブカフェさくらによる出張キャリアサポートを継続実施し、既存企業のほか、新たな受入企業を開拓する。
					指標以 外の事 実	・管外高卒者が管内企業へ就職する人(150人)は管内高卒者が管内に就職する人(116人)より多く、他地域からの人材の呼び込みに効果がでている。	指標以 外の 内 容		・県内高校を訪問し、市内企業情報を提供した。 ・労働量が変わらなくても企業活動を維持・発展させることが必要。生産性向上の取組を後押しするため、デジタル技術のリテラシーを高める事業をバージョンアップして継続実施した。	指標以 外の 内 容	・管内高校卒業予定者は年々減少傾向にある。また、進学希望の割合が増加しているため、就職希望者は減少している。 ・省力化・省人化に向けた生産性向上の考え方も地域企業に浸透してきている。		
6	商工 部	●	中小企業 勤労者の 福利厚生 支援	中小企業における就労環境の充実強化、ワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、北上地区勤労者福祉サービスセンターのサービス内容拡充に向けた連携を強化する。	④⑤⑥	指標に基 づく事 実	⑥就労環境に対する意識の高まりなどから認定制度等に参加している事業所数が増加したが、期待値は下回っている。	B  (B)	指標に 関する 内 容	なりわい事例集の作成による好事例の展開、ジョブカフェさくらで出張キャリアサポートなどの事業の実施した。	指標に 関する 内 容	・いわて働き方改革推進運動参加事業者が、前年比22社(26.8%)増加していることが全体数値を押し上げている。 ・企業や関係機関の高卒人材確保に向けた取り組み等により、管内新規高等学校卒業者求人の充足割合はR1年度以降、増加傾向にある。	◇北上地区勤労者福祉サービスセンターの取組を通じて、中小企業の福利厚生支援を継続して行う。 ◇中小企業のワーク・ライフ・バランスに資する情報提供を市HP、SNSを通じて発信していく ◇階層別人材育成セミナーを開催するほか、ジョブカフェさくらによる出張キャリアサポートを継続実施し、既存企業のほか、新たな受入企業を開拓する。
					指標以 外の事 実	・北上地区勤労者福祉サービスセンターの会員数は入会する事業所数を退会する事業所数が上回っており6事業所退会、会員19人減となった。	指標以 外の 内 容		北上地区勤労者福祉サービスセンターへ運営費補助金及び中小企業会員の会費等の補助により福利厚生向上に寄与した。	指標以 外の 内 容	資格取得支援やライフステージの変化に応じた福利厚生の取組みが求められている。		

凡例    ●実績値    —期待値

指 標 ①		指標の説明								指 標 ②		指標の説明								指 標 ③		指標の説明							
福祉施設から一般就労への移行者数		福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業所等のサービスを通じて、一般就労へ移行した人の数。								北上公共職業安定所管内企業の障がい者雇用率		常用雇用者のうち障がい者を雇っている割合。								北上市介護人材確保推進補助対象者数のうち就労継続者数		補助金請求時に就労継続の報告があり、それに基づいている。(累計)							
																													
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福祉部	人	実績値	9	12	19	7	15	9		福祉部	%	実績値	1.87	1.99	2.18	2.09	2.09	2.18		福祉部	人	実績値	3	9	6	5	3	5	
		期待値 ※R7は目標値	9	10	11	12	12	13	14			期待値 ※R7は目標値	1.87	1.98	2.08	2.19	2.29	2.40	2.5			期待値 ※R7は目標値	3	4	4	5	5	6	6
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明								指 標 ⑥		指標の説明							
就職率(就職件数／新規求職申込件数)		新規求職申込者(就職希望者)に対する就職した者の件数								管内新規高等学校卒業求人の充足割合		管内の新規高等学校卒業求人に就職した県内の新規高等学校卒業求人数								国及び県の認定制度等に参加・登録・認証等されている事業所数(※)		若者の採用・育成に積極的な企業、子育てサポートをしている企業、女性活躍推進をしている企業、働き方改革に取り組んでいる企業として認定又は認証している事業者数。 ※対象：コースエール、くるみん、プラチナくるみん、えるぼし、いわて働き方改革推進運動、いわて女性活躍推進企業等 認証制度、いわて子育てにやさしい企業等認証・表彰制度							
																													
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
商工部	%	実績値	46.7	41.1	44.8	43.5	40.3	37.9		商工部	%	実績値	45.4	49.8	52.9	53	55.8	54.7		商工部	社	実績値	34	79	99	109	118	148	
		期待値 ※R7は目標値	46.7	47.3	47.8	48.4	48.9	49.5	50			期待値 ※R7は目標値	45.4	46.5	47.6	48.7	49.8	50.9	52			期待値 ※R7は目標値	34	58	83	107	131	156	180
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明								指 標 ⑨		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明								指 標 ⑫		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明								指 標 ⑮		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							